

**第4期市立川崎病院
モニター会議（第1回）**

	モ ニ タ ー	実 施 機 関・事 務 局
出 席 者	古川 智洋（川崎区医師会会長） 最上 久美子（かわさき南部訪問看護ステーション所長） 大場 芳彦（境町町会会長） 金国 暁子（公募） 唐鎌 良香（公募） <p style="text-align: center;">モニター 計5人</p>	<p>【実施機関】</p> 川崎病院 担当理事 番場 正博（議長） 副院長 宮川 俊一 副院長 網嶋 たかえ 庶務課長 勝野 隆 医事課長 佐藤 康明 地域医療部担当部長 北村 修 地域医療部担当課長 森田 博志 病院局 総務部庶務課長 関 広文 経営企画室担当課長 高橋 智常 <p>【事務局】</p> 川崎病院 庶務課企画調整担当 山本 哲也 <p style="text-align: right;">職員 計10人</p>
開催日時	平成29年7月26日（水）午後1時15分から午後2時30分まで	
開催場所	市立川崎病院 4階会議室	
議題	1 報告事項 （1）平成29年度 市立川崎病院の充実・強化に向けた取組について【資料1】 （2）平成29年度 患者満足度調査の実施について【資料2】 2 審議事項 （1）モニターの皆様からの課題・意見について【資料3】	
傍聴者数	0人	

山本職員　それでは病院モニター会議を始めさせていただきます。初めに事務連絡を申し上げます。わたくしは当院事務局庶務課の山本と申します。携帯電話については電源を切るかマナーモードに設定するようにしてください。院内 PHS についてもマナーモードに設定をお願いします。引き続き配布資料の確認をいたします。名簿・座席表・本日の次第・以降資料 1・2・3 までありますでしょうか。また、モニターの方には病院パンフレットを配布させていただきました。不備がありましたらお声掛けください。なお、本日は皆様ご出席いただいておりますので、当会議の開催が成立しましたので報告いたします。また、本日はオブザーバーとして地域医療部担当部長の北村が出席しております。では、番場議長よろしく申し上げます。

番場議長　第 4 期市立川崎病院モニター会議第 1 回を開催いたします。それでは、議題に入ります前に、まず、会議の公開について委員の皆様にお諮りいたします。川崎市では、「川崎市審議会等の会議の公開に関する条例」に基づき、このような会議は原則として公開することとなっております。非公開の事由となる個人情報や企業機密にかかわる事項はないとの事務局からの説明ですので、本日の会議についても公開といたします。次に、会議の公開決定に伴い、本日の委員会に係る傍聴希望者について、事務局から報告をお願いします。

山本職員　傍聴希望者はいません。

番場議長　傍聴希望者はいませんので、このまま進行させていただきます。それでは、次第に沿って進めさせていただきます。

1 報告事項

勝野課長 第3期市立川崎病院モニター会議（第2回）議事録につきまして、【資料1】をご覧ください。平成29年度の川崎病院の充実・強化に向けた取組について、6点報告させていただきます。

1. 救急医療の強化についてです。小児科初期救急患者を受け入れる南部小児急病センターや、重篤な救急患者の治療に当たる救命救急センターを確保しています。「断らない救急医療」を掲げ、重篤な救急搬送患者については、ほぼ断ることなく受け入れを行っております。今後もより効率的に受け入れられるよう体制の整備を進めます。
2. 災害医療機能の維持・確保についてです。神奈川県災害拠点病院として、災害時における重症患者の受け入れや救命治療、行為域的な搬送の対応などを行っています。また、市内で発生した災害や事故等の現場に医師等の医療チームを派遣する「市内救急医療派遣事業（通称：Kawasaki ONE PIECE）」や、大規模な災害や事故等の現場に医師等の医療チームを派遣する川崎DMAT（災害医療派遣チーム：Disaster Medical Assistance Team）、さらに、神奈川県内外で発生した大規模な災害や事故等の現場に医師などの医療チームを派遣する神奈川DMATなど、災害時における医療提供体制を今年度も確保しています。
3. がん診療機能の強化についてです。平成29年4月から「神奈川県がん診療連携指定病院」として、質の高いがん医療機能・体制を確保するとともに、患者等に対する相談支援を行い、地域のがん医療水準の向上や患者サービスの向上に努めていきます。なお、平成28年度には、がん医療の需要の変化への対応と、更なる安全・安心な医療の提供を目的に、患者にとってより低侵襲である先進的な手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」を導入いたしました。また、今年度も、小さながんを早期に発見することができるPET-CTを、本市南部地域で初めて導入する予定です。引き続き高度な検査・治療機器の効果的な活用と計画的な更新・導入を行ってまいります。
4. 高度脳神経治療センターの設置についてです。脳梗塞や脳出血等の脳血管疾患は、主要な死因のひとつとなっており、高齢化の進展に伴って患者の増加が見込まれることから、市立病院における脳血管疾患治療の充実を図るために、平成29年度4月に「高度脳神経治療センター」を設置し、脳神経外科、神経内科、救急科を中心とした複数の診療科が緊密な連携を図り、迅速かつ正確な専門的治療を提供することとしております。脳血管疾患は、初期治療の速さと正確さによって、機能予後と生命予後が大きく左右される疾患であり、突然の激しい頭痛、意識障害、四肢の麻痺、言葉の障害などの症状が認められる場合には、すぐに医師による診断を受ける必要があります。病院の各科の専門スタッフが直接、迅速に対応し、正確な早期診断と早期治療に努めてまいります。
5. 地域医療連携の推進についてです。これまで長く続いた病院完結型の医療提供体制は、高齢化の進展に伴い、地域完結型の医療提供体制に移行しているところであり、より一層の地域医療連携が求められています。そのため、地域に必要な医療を確保し、地域の医療機関との連携を図る観点から、国ではかかりつけ医等を支援する医療機関として「地域医療支援病院」を整備することとしています。川崎病院は、地域医療連携の実績が認められ、平成28年3月に「地域医療連携病院」の名称承認を受けました。今後も引き続き、紹介患者に対する医療の提供を推進するとともに、医療機器の共同利用や地域の医療従事者を対象とした研修

の実施、救急医療の提供などの役割を果たしてまいります。

6. 医療機能再編整備の推進についてです。現在の建物整備後に救命救急センターや地域周産期母子医療センター等の新たな医療機能を整備してきたこと等から、施設内が狭隘となり効率的な医療提供や患者サービスの向上に影響が生じるとともに、今後高齢化等により増大する医療需要等に適切に対応できる施設的な余裕がありません。そのため、川崎病院の医療機能再編整備を推進するため、平成 29 年 3 月に「川崎病院医療機能再編整備基本構想」を策定いたしました。平成 29 年度は、今後必要となる医療機能に見合った施設・整備や、人員体制について引き続き検討を行います。今年度は再編整備の基本計画を策定する予定です。

番場議長　　今の病院のあり方について簡単に説明をいただきました。委員の方からご質問やご意見はありますか。

古川委員　　PET-CT は具体的に今年度のいつ頃導入ですか。

勝野課長　　1 階に整備予定で改修工事を含めて来年の 3 月頃を予定しております。導入は決定しております。

番場議長　　その他気付いた点があればご意見を頂ければと思います。次に患者満足度調査の実施について報告いたします。

勝野課長　　【資料 2】をご覧ください。平成 29 年度患者満足度調査の実施について報告いたします。川崎病院の入院・外来患者の満足度調査を基に病院の課題点と問題点の構造を把握し、病院全体の方針決定や運営に生かすことを目的とし、平成 17 年度から毎年実施しています。今年は 12 年目となります。今年度については、調査日時は外来で平成 29 年 8 月 2 日（水）、3 日（木）午前中、入院は平成 29 年 7 月 25 日（木）から平成 29 年 8 月 29 日（火）までの間に実施します。調査数は外来患者へ 450 部、入院患者へ 500 部配布する予定です。外来は 1 階正面玄関、入院は各病棟にて回収いたします。具体的な調査内容については「入院に関するアンケート調査へのご協力へのお願い」として、病院長名で各入院患者様にお知らせを配布します。より良い病院づくりに役立てること、回答内容が今後の診療等に影響を与えることはないこと、続いて調査・回答方法とお問い合わせ先を記載しております。次ページよりアンケートの内容となります。医師、看護師、事務職員、その他職種に対してそれぞれ設問を 5 段階で評価いただきます。次に、入院された経緯と理由、病院設備について詳細を伺います。次に、当院についての総合的な見解についてご意見をいただきます。最後に患者様ご自身の情報をお伺いして終了となります。続いて外来のアンケート調査についてご説明します。依頼文の後入院患者様への調査同様、職種別職員に対して、病院内の環境設備について評価をいただきます。外来に特化した項目である交通アクセス、当院を選んだ理由、待ち時間、外来モニター、Wi-Fi 設備、その後総合的な見解と患者様情報を続きます。説明は以上となります。

番場議長　　多数の項目となっています。委員の方からご質問やご意見はありますか。

勝野課長 報告書ができるのは12月頃となります。今年度2回目のモニター会議でご報告できると思います。

番場議長 報告事項は以上になります。次に審議事項に移ります。モニターからの提案・意見に対する検討課題について【資料3】をご覧ください。事務局より報告をお願いします。

山本職員 事前にモニターの皆様から会議前に先立ちましてご意見いただきましたので、資料を基にご説明いたします。ご意見は大きく分けて3つあります。

1. 地域医療支援病院の取組についてです。地域医療支援病院に関して、頻繁に入れ替わる当院外科医師の専門領域を一般開業医にアップデートすることに対する広報活動についてご提案がありました。
 2. 県がん診療連携指定病院の取組についてです。敷地内禁煙の実施に伴い、病院周辺での患者さんの喫煙が目立つことに対する患者さんの安全管理も含めて病院の見解についてご意見をいただきました。
 3. その他として、院内の緑地が職員の自転車で通路が挟まり車椅子が通れなくなったり、放置自転車の対策などについてご意見がありました。
- それぞれのご意見に対する具体的な内容について職員から説明をいたします。

森田課長 外科系医師の専門領域の広報活動の取組について回答いたします。人事異動等に伴い医師に変更は生じますが、当院では毎年「診療のご案内」を作成し各科の医師の紹介を行っています。また、ホームページでも医師の紹介をしています。さらに「地域医療連携便り」や「くすの木」の発行を通して情報提供しています。今後も様々な媒体を通じて情報の公開を行っていきます。

森田課長 次に、敷地内全面禁煙の取組について回答いたします。当院では平成28年7月から敷地内全面禁煙を実施しております。また、平成29年3月からは神奈川県がん診療連携指定病院の指定も受け、「敷地内禁煙等」が指定要件となっています。要件遵守のためにも、院内に全面禁煙に関するポスターの掲出、デジタルサイネージやホームページで禁煙の案内をしています。入院患者様に関しても入院案内時に禁煙の協力をお願いしています。周辺道路は敷地外となっていますが、様々な案内の実施、清掃活動を通して地域の方々への協力をお願いしております。

勝野課長 次に、自転車対策の取組について回答いたします。当院は正規職員900人、非常勤1200人、委託職員1100~1200人程度従事しています。年々の医療機能の拡充によりさらに職員が増加しております。そのため当初予定していた駐輪場がキャパオーバーとなり、ご意見いただいたとおり車椅子での通行は困難かと考えられます。そこで、暫定的な対応ではありますが、新たに敷地西側駐輪スペース20台分、保育棟脇駐輪スペース20台、計40台を確保したいと思っております。

- 番場議長 ご説明は以上となります。モニターの方からご意見をいただきたいと思います。
1. 地域医療支援病院の取組に関して、毎年医師が3分の1程入れ替わってしまうのが現状です。特に外科系医師の広報活動を行っていくことのことですが、今の説明に関して何かありますでしょうか。
- 古川委員 川崎病院は初期研修病院の中でトップクラスの人気だと思います。院外に対する宣伝をより積極的に行った方が良いのではないかと思います。ただ、従来の方法ではなく、よりリアルタイムで把握できればと思います。ホームページは年配の方にとって扱いづらいと思います。
- 番場議長 ホームページのリニューアルは大切ですが、年配の方は把握できないと思います。広報誌等も発刊が遅れてしまっているのが現状です。広報誌、ホームページ、冊子の3本柱で広報活動を行っていきます。
- 最上委員 最近では毎月外来診療表を当ステーションに頂いています。それにより当利用者にも案内をしやすくなりました。広報誌は昨年からは届くようになりました。発行回数を増やしていただければと思います。
- 番場議長 診療表をお渡しする際に医師紹介の用紙もお渡しする等、地域医療部としても検討していただきたいと思います。
- 金国委員 くすの木は院内には置いていないのでしょうか。1階のつつじ文庫は観覧される方が多いので置いておくとうまいかと思えます。
- 北村部長 各診療科の棚等に置いています。発行部数に限りもあります。ぜひ参考にさせていただきます。
- 番場議長 配布する場所についても検討いたします。
- 大場委員 災害対策について伺いたいと思います。東日本大震災時に浦安市が液状化により下水機能が麻痺したとの話がありました。川崎市も埋め立て地があり、液状化現象が起こる可能性があると思います。病院としての下水対策はどうされているのでしょうか。浦安市では下水改修に3か月を要したそうです。
- 関課長 水を使用しない簡易トイレの備蓄（3日分）を行っています。ただ使用済み簡易トイレの保管場所については課題となっています。また液状化にならなくても各施設の下水管が使用できなくなる可能性があり、この場合、全ての公共施設の確認作業は長くて1年程かかるのではないかとされています。
- 番場議長 病院内だけで解決できる案件ではないため、病院局と検討していきたいと思えます。

敷地内禁煙については何かご意見ありますでしょうか。この病院の回答ですと患者様の安全管理についてはあまり触れられておりません。事務局の今後の検討課題としたいと思います。

金国委員 南口をよく利用していますが、喫煙者を見ない日はありません。輸液ポンプをひきながら喫煙をしてコンビニまで行っているようです。段差もあるため、いつか倒したり、転倒したりしてしまうのではないかと危惧しています。出入口の警備員の椅子をなくしたのは良いと思います。ただ、本日は誰も立っていませんでした。必ず患者さんが通るのでちょっと気にかけていただくと良いと思います。病棟で外出を把握できれば良いのですが、職員も無関心のようなようです。以前、転びそうになった方を病棟までお送りしたことがあります。事故が起こる前に対策を講じていただきたいと思います。

森田課長 非常に注意しにくい案件ではあります。院外にでるのはどうかと思いますが、そういう方々にどう注意を促すか庶務課とも検討していきたいと思います。

金国委員 南門のところに警備員が一人立っているだけで大きく変わると思います。

綱嶋副院長 出入り自由なところはウィークポイントではありますので、ご協力を願いたいです。

番場議長 警備員のことも含めて検討課題としたいと思います。
緑地の自転車について何かご意見ありますか。放置自転車は廃棄予定です。

最上委員 地域医療連携室と医療相談室が一緒になる予定で、1階から撤退して上の階に移動する話を聞きました。1階に設置できないのでしょうか。

森田課長 医療相談室は1階の21番窓口となっています。事務スペースとして3階を使用しています。地域医療連携室は4階ですが、相談員は1階にいます。

最上委員 もう少しわかりやすい所に配置していただきたいです。

勝野課長 再編整備基本構想では地域医療部を1階に整備することを検討しています。ただ現在は院内の狭隘により3階で事務作業をしています。1階に来ていただければすぐに3階から降りるよういたします。

番場議長 案内板なども用いて対応していきたいと思います。
本日予定されている議事は以上です。窓口は事務局担当が行っています。何か気づいた点があればご連絡ください。モニター会議第2回は来年1月頃を予定しています。本日はお忙しい中お越しいただきありがとうございます。第1回モニター会議を終了いたします。

以上